

授業科目名： 現代経済学の理論と方法		担当教員名： 藤井誠二・李佳	
選択必修： 選択	単位数： 2	セメスター： 1 前	開講言語： 日本語

### ディプロマポリシーとの関連

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
	●	

### ○授業の到達目標及びテーマ

本授業科目では、経済学の基本的な分析道具を身に着け、現実の経済問題を解析・理解できるようになることを目標とする。前半はミクロ経済学、後半はマクロ経済学に焦点をあてる。

### ○授業の概要

本授業科目では、経済学の理論的フレームワークを学習することを目標とする。前半はミクロ経済学、後半はマクロ経済学に焦点をあてる。前半のミクロ経済学では、需要と供給、価格弾力性、余剰分析、効用、消費者行動、生産者行動といった事柄を学習する。後半のマクロ経済学では、IS-LM モデルに代表される短期モデル、ソロー・モデルや AK モデルに代表される長期モデルを中心に学習する。授業の進行状況により内容を調整する場合がある。

### ○授業の方法

- 1) 日本語で行われる。
- 2) 受講生は、テキストを読み、また授業での質疑応答に積極的に参加することを求められる。
- 3) 授業は、毎回、簡単なレジュメ・パワーポイント等の資料が示され、それに基づいて、当日のテーマについての講義が行われる。それと共に、授業の進行状況に応じて随時、質疑応答やディスカッションを実施する。

### ○授業計画（予定）

第 1 回 イン트로ダクション、需要と供給、価格弾力性

第 2 回 消費者行動の理論

第 3 回 消費者行動の理論

第 4 回 生産者行動の理論

第 5 回 生産者行動の理論

第 6 回 市場均衡の効率性、市場の失敗

第7回 ゲーム理論

第8回 マクロ経済学のための基礎知識

第9回 IS 曲線 (財市場の均衡)

第10回 LM 曲線 (貨幣市場の均衡)

第11回 IS-LM モデル (財市場と貨幣市場の同時均衡、財政金融政策の分析)

第12回 開放経済 (マンデル=フレミングモデル)

第13回 経済成長の概観とソロー・モデル

第14回 内生的成長モデル

第15回 まとめ

第16回 期末試験

○テキスト (予定)

神取道宏 (2014) 『ミクロ経済学の本』 日本評論社

齊藤誠・岩本康志・太田聡一・柴田章久 (2016) 『マクロ経済学 新版』 有斐閣

○参考書・参考資料等

随時紹介する

○学生に対する評価

1) クラス討論への貢献: 10%

2) 期末試験 (期末試験 (持込不可) : 90% (ミクロ経済学 45%、マクロ経済学 45%))

○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態

Class format : Online class (Real-time delivery)

Location of class materials, notices, and correspondence information: Please check with your lecturer